

練馬区家庭ごみ（もやすごみ）細組成調査結果報告

大正大学 岡山朋子

1. 調査の概要

目的:練馬区のごみ処理基本計画において重点課題のひとつとなっている「食品ロスの削減」に関して、一般家庭において、どの程度、未利用食品(購入などしたが、食べられずに捨てられる食品)が発生しているのか、実態を把握するため。

実施日時:2018年7月11日(火) 9:00~14:00程度(洗身の時間含む) 実質4時間

実施体制:岡山ゼミ 3年生10名、4年生7名 教員(岡山) 計18名

実施施設:谷原清掃事業所(〒177-0032 練馬区谷原5丁目5番11号)

事業概要:家庭から排出される可燃ごみ中の未利用食品等の組成調査

サンプリング総量:420kg このうち、剪定枝 137.3kg、事業系ごみ 8.2kgを除いて縮分した。

細組成調査対象ごみ総量:236.9kg(縮分後のごみを調査対象としたが、未分類ごみ 38.5kgが発生した。この未分類ごみ量を除く)

2. 結果

可燃ごみ(調査したごみ)中の厨芥類の割合は 34.4%、厨芥類厨の食品ロスの割合は 56.1%である(環境省推計では、家庭の食品廃棄物総量 822 万トン中、食品ロスは 282 万トン、割合は 34.3%となる)。可燃ごみ中の食品ロスの割合は、19.3%である(福井県調査では、県下市町の平均が 13.5%、川口市は 16.1%)。

紙類では、まだリサイクル可能である紙ごみは、全紙ごみ中の 58.1%である。

プラスチック類は、全体では 21.1%で見た目にも非常に多い印象だった(可燃ごみ中のプラスチック類は、例えば新潟市は 14.1%、市川市では 14.0%)。リサイクル可能プラスチックが大半を占める。

その他可燃ごみでは、猫砂・ペットシートが 18.7kg で、その他可燃物の 45.4%を占めていた。

表1 組成別重量と割合

		重量(kg)	割合(%)	割合2(%)	割合3(%)
厨芥類	非可食部	35.8	15.1	34.4	19.3
	食べ残し	21.9	9.2		
	飲み残し	1.9	0.8		
	未利用食品	8.3	3.5		
	未開封食品	13.7	5.8		
紙類	雑古紙	35.4	14.9	25.7	-
	リサイクル不能紙	25.5	10.8		
プラ類	ごみ排出用レジ袋	10.4	4.4	21.1	20.7
	その他プラ容器包装	38.7	16.3		
	製品プラ	1	0.4		
その他	その他可燃	41.2	17.4	18.7	-
	その他不燃	3.1	1.3		

3. 分母の変更(可燃ごみ総量の考え方)

可燃ごみの総量について、調査ごみ量に剪定枝を加えた量を可燃ごみ総量とした場合、可燃ごみ中の厨芥類の割合は 19.4%となる。また、可燃ごみ中の食品ロスの割合も 12.2%となる。その場合、福井県の平均値よりも少なくなる。



写真: 未利用・未開封食品



写真: 食べ残し